

様式第3号（第8条関係）

会 議 録

会 議 名	令和 6 年度第 4 回東松山市下水道事業審議会					
開 催 日 時	令和 7 年 2 月 1 3 日（木）			開 会	1 3 時 2 5 分	
				閉 会	1 4 時 1 5 分	
開 催 場 所	市役所本庁舎 3 階 全 員 協 議 会 室					
会 議 次 第	1 開 会 2 議 題 諮問事項 「下水道使用料の改定について」に対する答申書（案） について 3 そ の 他 4 閉 会					
公開・非公開の別	公 開		傍聴者	2 人		
非公開の理由 （非公開の場合）	—					
委員出席状況	第 1 号委員	野 口 健 吉	出	第 3 号委員	大 島 勤	出
	〃	中 嶋 亮 順	出	〃	荻 野 紘	出
	〃	新 井 浩	出	〃	本 田 敏 彦	欠
	〃	根 岸 富 夫	出	〃	郷 地 兼 松	出
	第 3 号委員	堀 孝 夫	出			
市出席者 （事務局）	建設部長 岩 田 巧			下水道施設課長 矢 部 克 昌		
	建設部次長 町 田 和 行			下水道施設課副課長 野 澤 美 奈		
	上下水道経営課長 橋 本 哲 浩			下水道施設課主査 小 久 保 陽 子		
	上下水道経営課副課長 吉 田 元 気			市野川浄化センター所長 山 本 智 由		
	上下水道経営課副主幹 上 野 和 久					
	上下水道経営課主任 宮 川 敦 史					
1 開会	（事務局開会宣言） ・ 配布資料の確認					

2 議題 諮問事項 「下水道使用料の改定について」に対する答申書（案）について	会長 ・ 会議の公開及び傍聴人の有無について確認 ・ 傍聴人入室 ・ 議事録署名委員に中嶋委員及び郷地委員を指名 事務局 ・ 「下水道使用料の改定について」に対する答申書（案）について説明 ・ 欠席委員からの意見、質問について 欠席委員からの意見 答申書（案）のとおり進めていただきたい。市の魅力のためにも、財政赤字には注意いただきたい。 【質疑応答】 委員 答申案及び付帯意見には異議はない。前回の会議で提案した改定案について分析いただき、感謝する。10年間の収支の中でマイナスが生じることも理解した。市の提案が2回での改定だったため、3回のケースも検討すべきという意見であった。 委員 答申案の付帯意見（2）について水洗化率を教えてください。 事務局 令和5年度末の処理区域内の水栓化率は下水道処理区域内人口48,061人に対して水洗化人口は47,014人であり、97.8%である。約千人が接続していない状態であり、接続に向けて促進していく。
--	---

	委員 接続したいが、整備された下水道管までの距離があり、接続に多額の費用が必要になるため接続を行わない場合がある。宅地内は個人負担ということが問題である。 委員 下水道処理区域内の全ての人が接続した場合の市全体の普及率はどの程度か。 事務局 令和５年度末の下水道普及率は下水道処理区域内人口４８，０６１人に対して、市内行政人口が９０，８６２人のため５２．９％となる。 委員 整備が終了しているが接続していない人が約千人いるがその主な理由は何か。 事務局 整備完了後、接続するまでに時間を要することが主な理由であると認識している。 委員 未接続者に理由を確認しているのか。 事務局 個別には確認していない。下水道整備後でも引き続き浄化槽で対応できるため、すぐに接続しなくても問題ない場合が多いと考えている。
--	--

	委員 松葉町地区などでは道路を４メートル以上に拡張しないと下水道整備が行えないと聞いたことがあるが、整備を進めるために要件を緩和しても良いのでは。 事務局 松葉町や美土里町エリアで下水道管が整備されていない場所があるが、道路幅４メートル以上を条件としているものではない。道路幅４メートルを確保している道路から優先的に整備しているものである。道路工事や他の埋設管等との調整によるが、下水道管を入れるスペースがあれば順次整備をすすめる。 委員 説明いただいたような整備の優先順位などは知らなかったため周知徹底していただきたい。 委員 市議会の議事録によると水道事業経営戦略の中で料金改定を検討しており、３段階での改定を見込んでいる。次回下水道使用料改定を検討する際には、３段階も検討していただきたい。 委員 実際に支払いを行う場合、短期間で複数回料金改定するのは負担を感じる。５年に１度程度の料金改定が望ましいと考える。
--	--

	委員 付帯意見の（２）接続の促進を図ることとは具体的にはどのような対策があるのか。また（１）の２７年間使用料を改定せずに運営してきたことは一定の評価に値するとあるが、異なる意見もあったので、修正すべきである。 事務局 １点目の接続促進についてはホームページや広報紙を利用して、整備が完了したことや、補助金の内容など丁寧に周知して参りたい。２点目については過去の審議会の中で２７年間使用料を改定せずに運営してきたことは限られた予算の中で事業運営を行うなど企業努力でもあり、評価できる旨の意見があったので案として記述した。 委員 評価に値しないと感じる委員もいるので、一定の努力程度の文言に修正すべきである。 事務局 提案いただいた一定の努力という文言での修正対応を行う。 委員 県内で下水道管の老朽化に伴う大きな事故のニュースがあった。そのような事態を招かないためにも使用料改定を実施して、耐震化や老朽管更新を実施していただきたい。 ・ 審議終了 ・ 答申書の微修正については会長一任とすることを承諾 ・ 答申書は会長から２月２１日に市長へ提出 ・ 修正した答申書は後日事務局より送付
--	--

3 その他	委員 下水道への接続や補助金について問い合わせを受けることがある。今後も自治会の会議や総会の際に道路や下水道の整備計画等の説明等をお願いしたい。 委員 下水道整備には多額の費用を要する。今回の会議を通じて下水道未接続の方がいることが分かった。調査や対応を実施して普及率の向上に取り組んでいただきたい。 事務局（建設部長） 挨拶
4 閉会	（事務局開会宣言） 上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。 令和7年 2月19日 署名委員 郷地 兼松 令和7年 2月19日 署名委員 中嶋 亮順